

# 緑の未来協力隊 隊員報告

## 隊員プロフィール

氏名 : 東西岐子 (あずま ゆきこ)

赴任先: マレーシア サバ州 コタキナバル

NGO EAC (NGO Environmental Action Centre Sabah)

出身県: 奈良県

活動分野: 環境教育

活動期間: 2013年1月から2015年1月

## 【活動概要】

環境教育の一環として「買い物ゲーム」という環境に優しい買い物の仕方を遊びながら学んでいくゲームを行ったり、コンポストなどの環境配慮意識向上プログラムの効果的な実施や調整、モニタリングなどの支援をすることです。

## 【感想】

私の任地であるボルネオ島のコタキナバルは、近年開発が進み、熱帯雨林が伐採され、また急激に人口が増加しています。ほとんど日本のような生活ができる程ですが、未だに下水処理やゴミ処理といった部分の発展は遅れており、街中に下水のにおいやゴミが散らばっているという光景も目の当たりにします。2020年に先進国入りを目指しているマレーシアですが、まだ環境に関する興味や関心は低いと感じます。そのため、環境への興味・関心を継続させ、根付かせることはとても大変だと感じ、試行錯誤しています。しかし、新しいことを取り入れることが好きな国民性でもあるので、そこを利用して興味を持ってもらうことは、環境教育での、大きなスタートの一步だと思うので、諦めずに地道にそして、継続的に「繋がる」活動を行っていきたいです。

## 【今後の抱負】

新しいことを取り入れることが好きな国民性を利用し、3Rの視点から「廃油石鹸づくり」「風呂敷バッグ」そして「廃材の炭作り」を行っていく予定です。そして、それらのアクティビティを体験してもらうことにより、「環境」に対する意識が向上していくことで、微力ながらも住民の行動に変化が生まれることを期待しています。



水質調査風景



高校生たちと新聞バックづくり